

お客様各位

新製品 “ViewSnap” (ビュースナップ) のご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素は弊社製品をご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。

さて、この度弊社ではCAD図面のビューイングおよび検図を行うツール “ViewSnap” (ビュースナップ) 価格¥95,000 (税抜) を平成 20 年 8 月 4 日より、販売開始する事をお知らせ申し上げます。

この “ViewSnap” (ビュースナップ) の特徴として、ビューイング以外に下記の機能を有しています。

1. 双方向の図面コンバータ
2. CADに匹敵する “計測機能”
3. 検図のアシストを行う “エフコンプ” (図面比較、フォルダ比較などで構成)
4. 朱書きを行う “マークアップ”

弊社としては、“単なるビューアでは満足できないが、CADでは敷居が高い” と思われている方や、目視による検図作業にストレスを感じておられる方に対して、非常にベストなソリューションを提供できると考えております。
また、業種を問わず機械系や建築土木系でも有用なツールになり得ると考えております。

尚、上記特徴の 3. “エフコンプ” および 4. “マークアップ” は弊社の HandyCAD Mark II のオプション (有償) として本年度末頃のリリースを予定しておりますので、詳細が確定次第改めてご案内させていただきます。

つきましては、“ViewSnap” (ビュースナップ) の販売開始に伴いまして、キャンペーンを実施させていただきますので、是非この機会にご検討下さい。

今後とも末永く弊社製品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

ViewSnap の販売価格

発売開始日	2008/08/04 より
販売価格	¥95,000 (税抜)
サポート費	¥5,000 (税抜)

※体験版のダウンロードは製品版と同様 2008/08/04 からとなりますので、ご了承願います。

ViewSnap キャンペーンのご案内

概要	HandyView ユーザー様を対象とした優待キャンペーン
価格	¥30,000 (税抜)
期間	2008/08/04 ~ 2008/12/31 (5ヶ月)
対象	HandyView ユーザー様
備考	本数割引の適用なし HandyView の使用本数に関係なく適用

概要	HandyView ユーザー様以外を対象とした発売記念キャンペーン
価格	¥65,000 (税抜)
期間	2008/08/04 ~ 2008/10/31 (3ヶ月)
対象	HandyView ユーザー様以外
備考	本数割引の適用なし

ViewSnap

新製品



見るだけのビューアはいらない！

でもCADは敷居が高すぎる。。。。

そんなあなたに、使えるビューア“ViewSnap”をご提案します。

“ViewSnap”は、単にCAD図面をビューイングするだけのツールではなく、

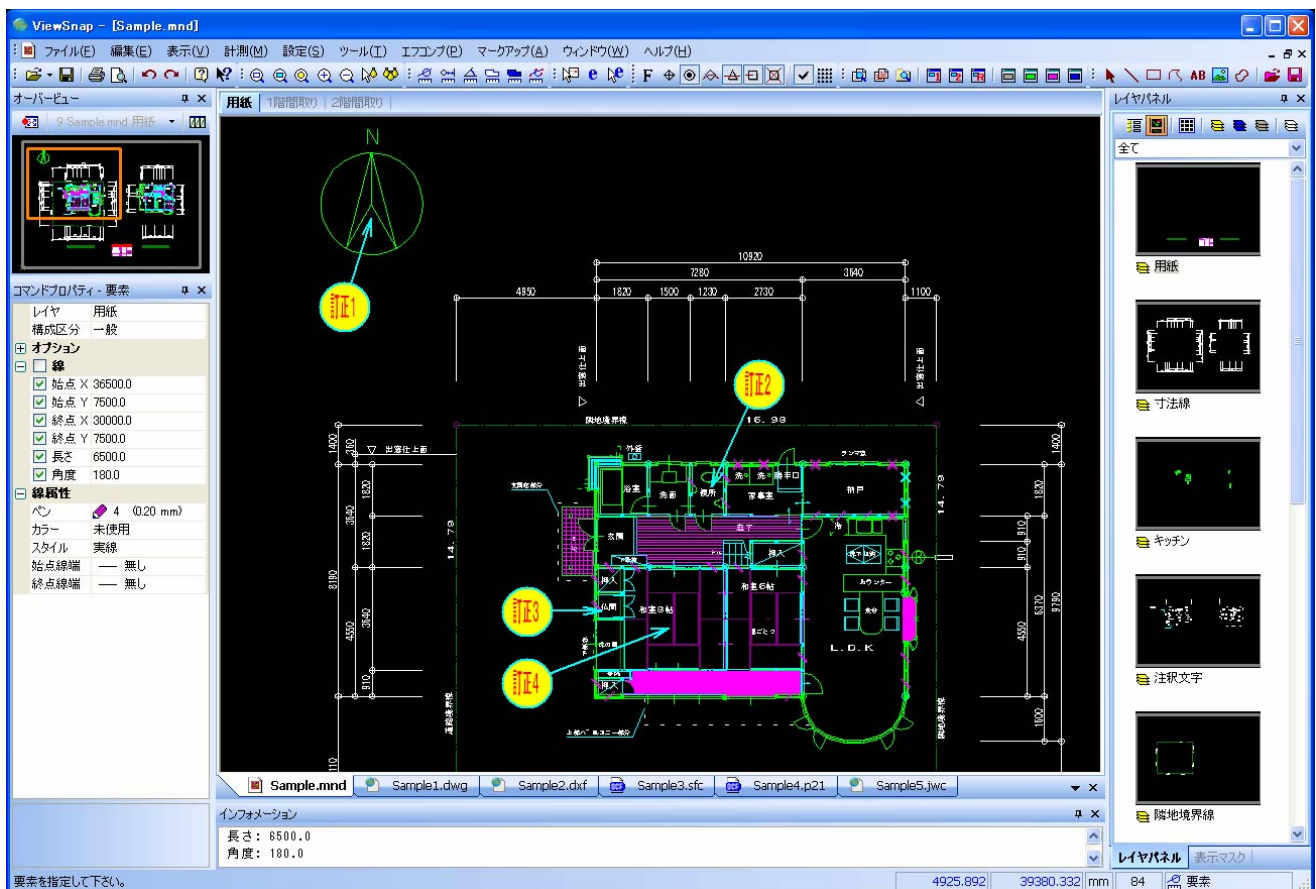
“設計者(作成者)の意図を取り込み、検証者(あなたの)の意思を伝えるツール”

として、お役立ていただけます。

図面のコンパルト、図形計測、図面比較、連続印刷、マークアップ、メール送信と、一連の作業は使えるビューア“ViewSnap”これ一つで解決です。

- CAD図面の受け渡しも“20種類を超えるダイレクトコンバータ”で解決。
- 書庫ファイルも図面検索も“ファイルブラウザ”で解決。
- 連続印刷も連続コンバートも“連続処理”で解決。
- 寸法値が描かれていなくても“計測機能”で解決。
- 検図の煩わしさや見落としも“エフコンプ”で解決。
- 検図の朱書き作業も“マークアップ”で解決。

- ✓ コンバータ
- ✓ ファイルブラウザ
- ✓ 連続処理
- ✓ メール送信
- ✓ 部分図タブ
- ✓ コマンドプロパティ
- ✓ オーバービュー
- ✓ レイヤパネル
- ✓ 表示マスク
- ✓ エフコンプ
- ✓ マークアップ



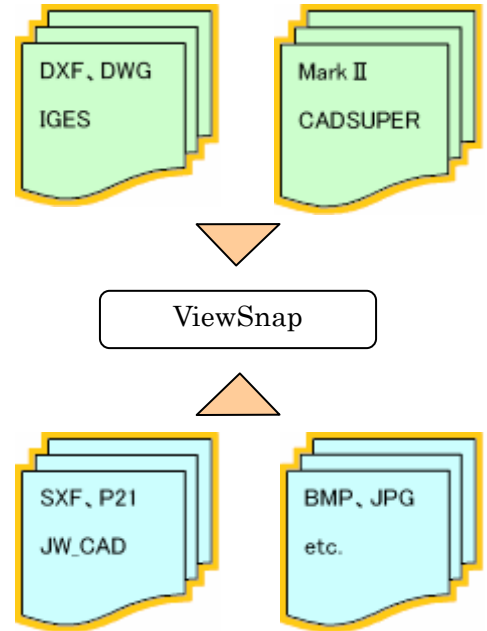
20種類を超えるダイレクトコンバータを標準搭載

“ViewSnap” は20種類を超えるダイレクトコンバータを標準搭載していますので、図面フォーマットを気にする必要はありません。

特に、業界標準と位置づけられる DXF,DWG フォーマットに関しては、最新のバージョンから粗悪なフォーマットまで、幅広く対応しており、今まで困難とされていたレイアウト空間や、一般的にトラブルが多いとされる寸法線に関しても、業界最高水準の変換精度を誇っています。

また、建築土木業界で標準化が進められているSXFフォーマットにも逸早く対応し、JW_CAD やアンドール社の CADSUPER についても積極的にサポートしています。

イラストや写真などのイメージデータも、図面と同じ感覚で読み込みが可能となっており、イメージデータ閲覧用に特別なツールを用意する必要はありません。



ファイルブラウザ

“ファイルブラウザ” は、図面のサムネイル表示をはじめ、図面に特化した情報が一覧で表示できます。

日々増え続ける図面の中から、意図する図面を見つけ出すのは相当の手間を要します。

例えば、“A”さんが作成した図面で、尚且つ、図面名称に“試作”を含んだ図面を特定フォルダ配下から全て探し出す作業を考えた場合、今までは1枚1枚図面を開いて確認するか、他のツールを使って探し出す必要があったと思います。

しかし、ファイルブラウザの“検索”機能を使えば、図面の持つ情報を基に適切な図面を探し出す事ができます。

また、一般的な書庫ファイルであれば、ダイレクトに書庫ファイル内の図面を読み込む事ができます。

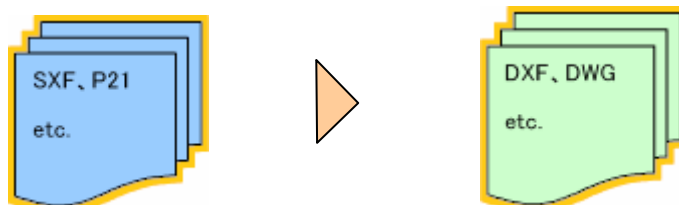


連続処理

“連続処理” は大量の図面を一括で、しかも簡単な操作で処理できる便利な機能です。

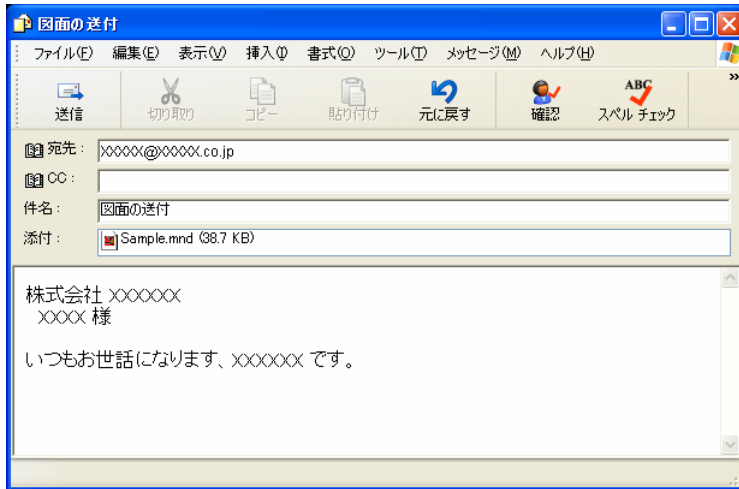
一括で印刷したい、一括でコンバートしたい、一括でイメージ化したいなど、様々な用途に対応しています。

“ファイルブラウザ” の検索機能を活用する事で、飛躍的に効率がアップします。



メール送信

今、開いている図面を、そのままメールで送りたいと思ったら、“メール送信” を使って下さい。
自動で使い慣れたメールソフトに開いている図面が添付されて起動しますので、後は宛先と本文を入力するだけです。



※一部対応していないメールソフトもあります

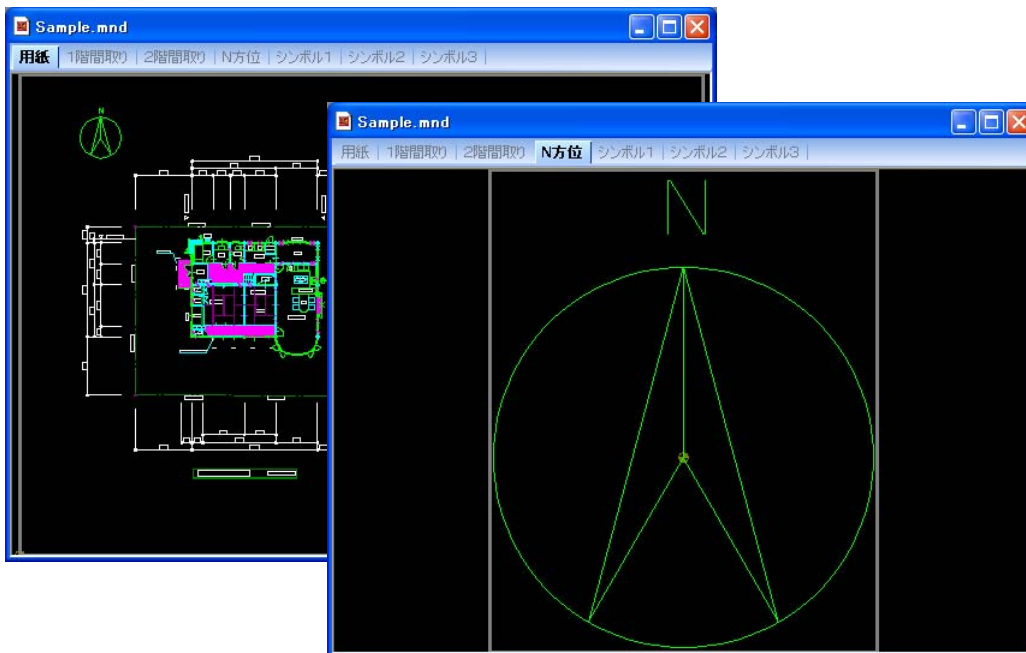
計測機能

寸法が解らない箇所や不正確と思われる箇所は、“計測” する事で正確な寸法を導き出します。
主な“計測” 機能として、距離、角度、周長、面積(重心)を用意しています。

部分図タブ

部分図が配置された図面であっても、“部分図タブ” を使用すれば、いつでも簡単に切り替えることができます。

用紙 | 1階間取り | 2階間取り | N方位 | シンボル1 | シンボル2 | シンボル3



コマンドプロパティ

“コマンドプロパティ” はコマンドパラメータの指示や情報の表示に非常に適したインターフェースです。

一般的にダイアログでは、パラメータを指示して“OK”で閉じ、オペレーションを行う必要がありますが、“コマンドプロパティ”では、必要な時に何時でもパラメータの指示や情報の確認ができます。

“コマンドプロパティ”の入力項目には参照ボタンが付いていますので、簡単にCAD要素から必要な情報を参照できます。

また、テンキーダイアログを活用する事で、数値入力の際にマウスから手を離す必要がなくなります。



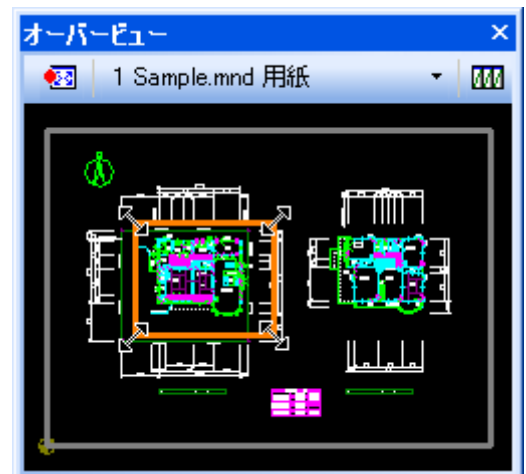
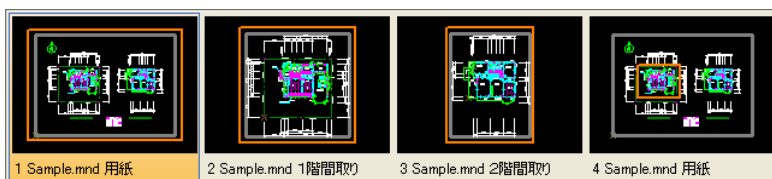
オーバービュー

“オーバービュー”はアクティブな図面の全体図とメインビューの表示エリアが常に表示されていますので、複雑な図面を拡大した場合でも、現在の位置関係をはっきり把握する事ができます。

“オーバービュー”の表示エリアをマウスでドラッグするだけで表示エリアの移動やサイズ変更が可能となっています。

表示エリアは複数登録する事ができ、作業中いつでも簡単に呼び出す事ができます。

また、図面や部分図をまたいで登録する事ができますので、図面や部分図の切り替え及びビューの拡縮操作が極端に減ります。



同期機能

表示エリアの“同期機能”を使う事で、目視による検図作業が飛躍的にアップします。

“同期機能”とは、複数の関連した図面の表示エリアを常に同じにする機能で、例えば、1つの図面を拡大すると他の図面も同じ表示エリアを示すように自動調整されます。

レイヤパネル

“レイヤパネル”には全てのレイヤ名とコンディションアイコンが表示されていますので、コンディションアイコンをクリックするだけで参照・表示・非表示の切り替えができます。

特定の条件でレイヤをフィルタリングする“レイヤフィルタ”を使用すれば、レイヤをグループ別け表示する事もできます。

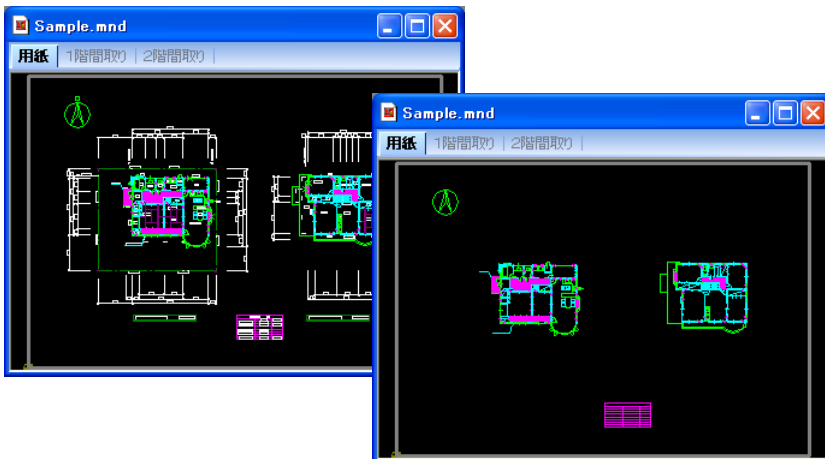
また、いつでも簡単にイメージ表示とリスト表示の切り替えができますので、図面の状態に合わせて使い分けすると便利です。



表示マスク

検図する際に、“文字”や“実線以外”が邪魔になったりしませんか？

“表示マスク”には全ての図形フィーチャーが表示されていますので、フィーチャ一種別をON/OFFするだけで図面の表示状態が切り替わります。



エフコンプ

今まで、設計変更に伴う検図で、意図しない変更箇所や見分けの付かない変更箇所を見落としてしまった経験はありませんか？

複雑化する図面に対して目視で検図を行うには限界があります。

そのような場で、“エフコンプ” が威力を発揮します。

図面比較／部分比較

“エフコンプ” の“図面比較” は新旧2つの図面の相違点をわかりやすくレポートしてくれるツールです。

操作はいたってシンプルで、二つの図面を指定して“比較開始”を実行するだけで、瞬時に相違点を色分けした“結果図面(合成図面)”が作成されます。

※新旧2つの図面フォーマットが異なっていて問題ありません。

この“結果図面”は前もって保存用のフォルダを指定しておく事で、自動保存が可能となっています。

“図面比較”は幾何学的な比較はもちろんの事、図面名称や図番などの“図面情報”や、ペン番号や線種などの“図形属性”についても比較が可能です。

また、図形が全体的に移動してしまった図面も、自動で移動量を導き出しますので、特別な作業を必要としません。

配置されている部品の比較など、“部分比較”を使えば図面上の特定の範囲だけを比較する事ができます。

フォルダ比較

図面と関連ドキュメント(資料)をフォルダ単位で管理している場合、管理フォルダが多重に階層化されていると変更箇所を見落としてしまう事があります。

そのような場で“フォルダ比較”を使えば、新旧2つのフォルダの相違点を簡単に調べ上げる事ができ、その際、“図面比較”も連動して行えますので、変更箇所の見落としが無くなります。

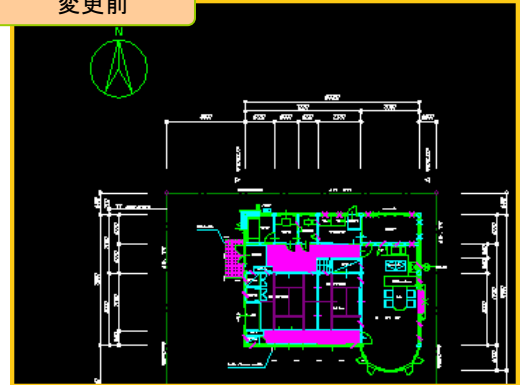
比較結果の画面では、ファイルのコピー、削除、図面の表示などが行えます。

ファイル名称	比較結果	サイズ1	サイズ2
¥チームA¥シンボル1.dxf	フォルダ2の方が新しい	8KB	8KB
¥チームA¥シンボル2.dxf	フォルダ2の方が新しい	8KB	8KB
¥チームA¥シンボル3.dxf	フォルダ2の方が新しい	7KB	7KB
¥チームB¥パーツ1.dxf	フォルダ1のみ存在	8KB	0バイト
¥チームB¥パーツ2.dxf	フォルダ1のみ存在	8KB	0バイト
¥チームB¥パーツ3.dxf	フォルダ1のみ存在	7KB	0バイト
¥チームC¥レイアウト1.dxf	フォルダ2のみ存在	0バイト	8KB
¥チームC¥レイアウト2.dxf	フォルダ2のみ存在	0バイト	8KB
¥チームC¥レイアウト3.dxf	フォルダ2のみ存在	0バイト	7KB

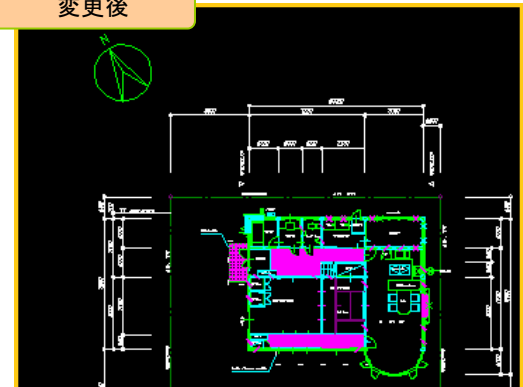
目視による検図アシスト

“結果図面”を基にした目視による検図作業でも、構成要素の表示／非表示を瞬時に切り替える便利なコマンドや、表示エリアの同期機能を使う事で、検図作業が飛躍的にアップします。

変更前



変更後



基本要素:

変更要素:

追加要素:

削除要素:

属性チェック

ペン

色

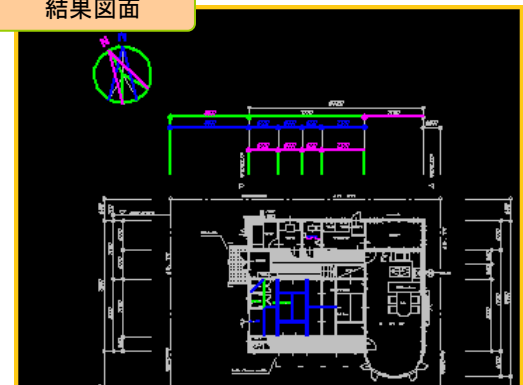
線種

線端

点スタイル

文字属性

結果図面



マークアップ

今まで、設計変更の指示や検図の結果をどうやって伝えていましたか？

口頭で？ 文章で？ CAD図面で？

何れの場合でも問題があり、口頭や文章だけではイメージが伝わらず、ましてやCAD図面に直接書き込んでしまつては、ドキュメントの保守性に問題が出てしまいます。

“マークアップ” は図面上にスケッチ感覚で朱書きできるツールで、CAD図面とは別ファイルで管理されていますので、保守性と意思の伝達に威力を発揮します。

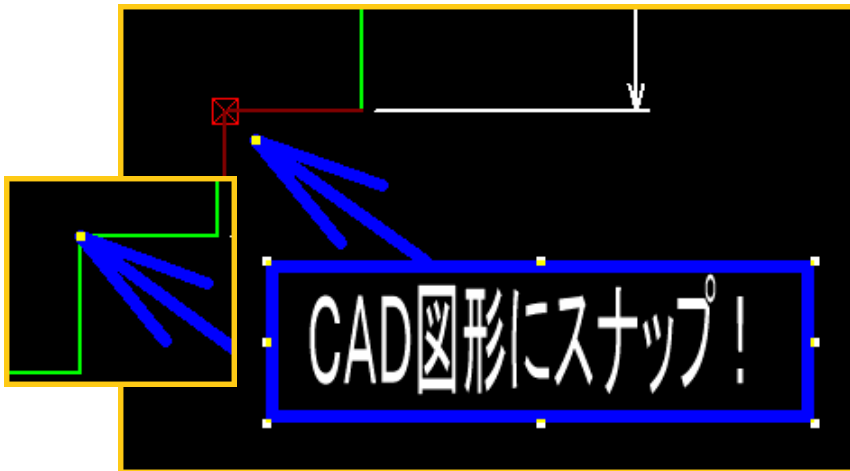
この“マークアップ”には引き出し付きコメントを始め、フリーハンドスケッチのような雲形状もご用意していますので、CADの知識が無くても簡単に作成する事ができます。

“マークアップファイル” は図面ファイル名と同名で保存する事で、次回から図面を開くとマークアップファイルも自動で読み込まれます。



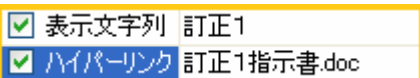
CAD図形にスナップ

“マークアップ” オブジェクトのグリップポイントはCAD図形にスナップしますので、引き出し位置の指定やオブジェクトの位置合わせが簡単に行えます。



ハイパーリンク

“マークアップ” オブジェクトにハイパーリンクを指定する事で、訂正箇所の詳細な指示を他のドキュメントと連携して行う事ができます。ハイパーリンクの付いた“マークアップ” オブジェクトをダブルクリックするとハイパーリンク先のドキュメントが自動で開きます。



動作環境

OS	日本語 Windows 2000/XP(32bit)/Vista(32bit)	2000/XP(32bit) を推奨
CPU	Intel Pentium 200MHz 以上、または完全互換プロセッサ	PentiumIII 以上を推奨
メモリ	128MB 以上	256MB 以上を推奨
ディスプレイ	1024 x 768 以上	1280 x 1024 以上を推奨
ハードディスク	100MB 以上の空き容量	500MB 以上の空きを推奨
入力装置	2 ボタンマウス、キーボード	ホイール付きマウスを推奨
出力装置	プリンタ:Windows 付属、または各メーカー提供のドライバ プロッタ:HP-GL 準拠のドライバ	
ライセンス	ハードライセンスのみ	USB タイプ、パラレルタイプ

※記載の社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

基本仕様

データ精度	倍精度データ、倍精度演算	
図形要素数	要素数無制限(コンピュータ環境に依存)	
基本図形	点、線分、ポリライン、円・円弧、楕円・楕円弧、文字、曲線、ハッチング、ピクチャー	
複合図形	寸法線、集合、ユニオン、シンボル、リンク図面	
座標認識	自由点、グリッド点、ラスタ点、線上点、中心点、極点、中点、端点、交点、図枠角、参照点	
レイヤ	4096 層(参照・表示・非表示)、名称、縮尺、表示フィルタによるグループ管理	
ペン(線幅)	16 本	
色	256 種類	
線種	実線、破線、一点鎖線、二点鎖線、三点鎖線、点線、補助線 ※ユーザー線種に対応	
線端	矢印、上矢印、下矢印、丸印、抜き丸、黒丸、三角、黒三角、スラッシュ、平行、インテグラル、抜き三角、四角、抜き四角、黒四角 ※ユーザー線端に対応	
文字表示	ベクトルフォント、TrueType フォント	
イメージ	BMP、JPEG、TIFF、PNG、WMF、EMF	
クリップボード	BMP、WMF	
計測機能	要素、距離、角度、長さ(周長)、面積、端点表示	
検図機能	図面比較、部分比較、フォルダ比較	
朱書き機能	線分、矩形、角丸矩形、楕円、雲形、ポリライン、イメージ、領域塗り	
データ保護	排他制御、バックファイル作成	
コンバータ	AutoCAD(DWG・DXF) SXF(P21・SFC) JW_CAD(JWC・JWW・JWK・JWS) IGES(2D) CADSUPER(SX・JX・FX) HandyCAD(HND・MND) EasyDraw(ED) HPGL	
カスタマイズ	Active-X オブジェクトとして操作可能(別途、SDK契約が必要)	

※記載の社名および製品名は各社の登録商標または商標です。